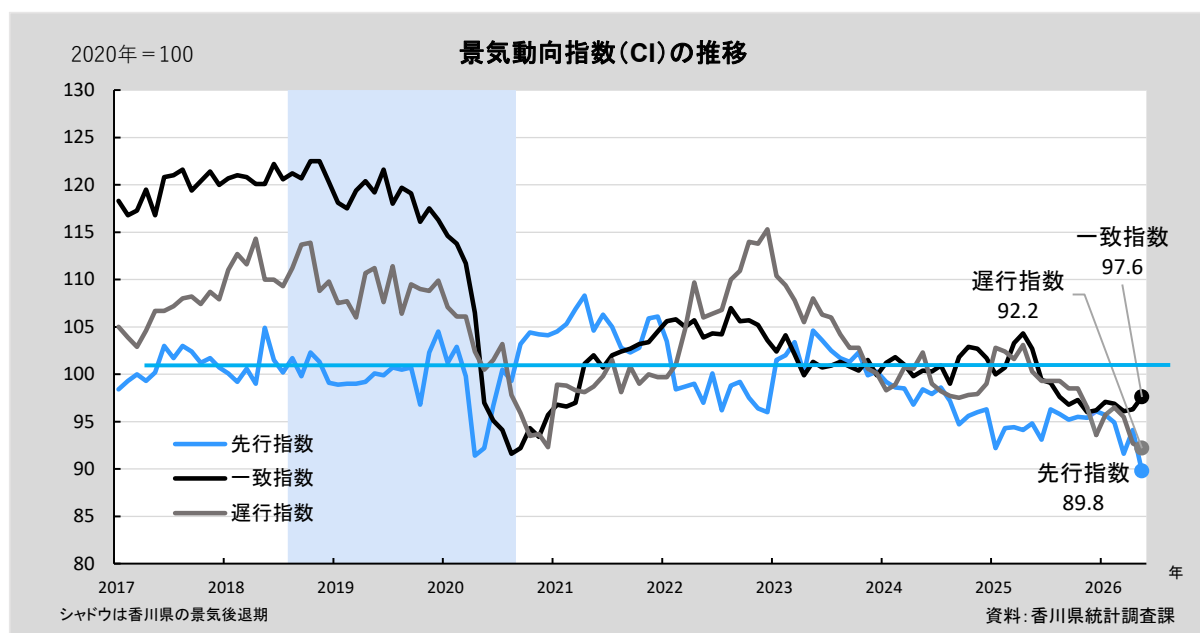


概況	持ち直している。
個人消費	緩やかな増加基調にある。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	持ち直しの動きに弱さがみられる。
貿易	輸出は減少、輸入は増加している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI)

一致指数 2カ月連続上昇



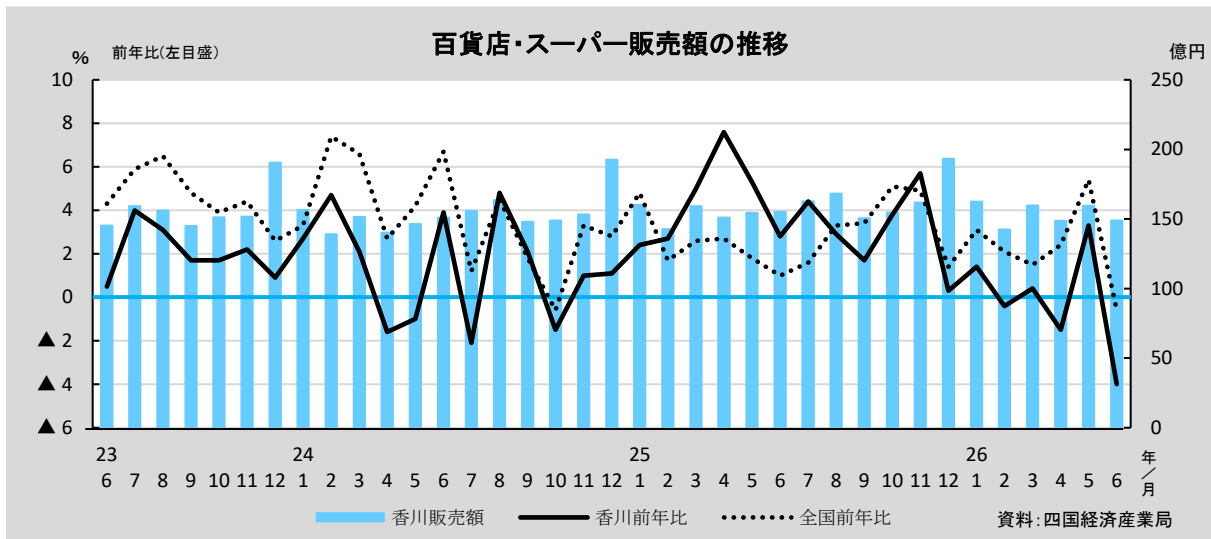
景気の現状をみると、5月のCI一致指数は97.6（前月比+1.3ポイント）と2カ月連続で上昇。CI先行指数は89.8（同▲4.3ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI遅行指数は92.2（同▲0.5ポイント）と3カ月連続で下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、雇用保険受給者実人員、鉱工業出荷指数等がプラスに寄与し、2カ月連続で上昇となった。

採用 景気 指標	先行系列		一致系列		遅行系列	
		寄与度		寄与度		寄与度
	1 新規求人数	▲ 2.21	1 雇用保険受給者実人員	1.01	1 常用雇用指数	▲ 0.21
	2 乗用車新車登録台数		2 有効求人倍率	▲ 0.55	2 有効求職者数	▲ 1.36
	3 鉱工業在庫率指数	0.05	3 所定外労働時間指数	▲ 0.65	3 消費者物価指数	1.01
	4 新設住宅着工戸数	▲ 0.96	4 鉱工業生産指数	0.32	4 家計消費支出	1.12
	5 金融機関貸出残高	▲ 2.31	5 鉱工業出荷指数	0.78	5 鉱工業在庫指数	▲ 0.49
	6 消費者態度指数	1.18	6 建築着工床面積	▲ 0.33	6 法人事業税調定額	▲ 0.89
			7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.74	7 第3次産業活動指数	0.42

●百貨店・スーパー販売額

2 カ月ぶり減少 ↓

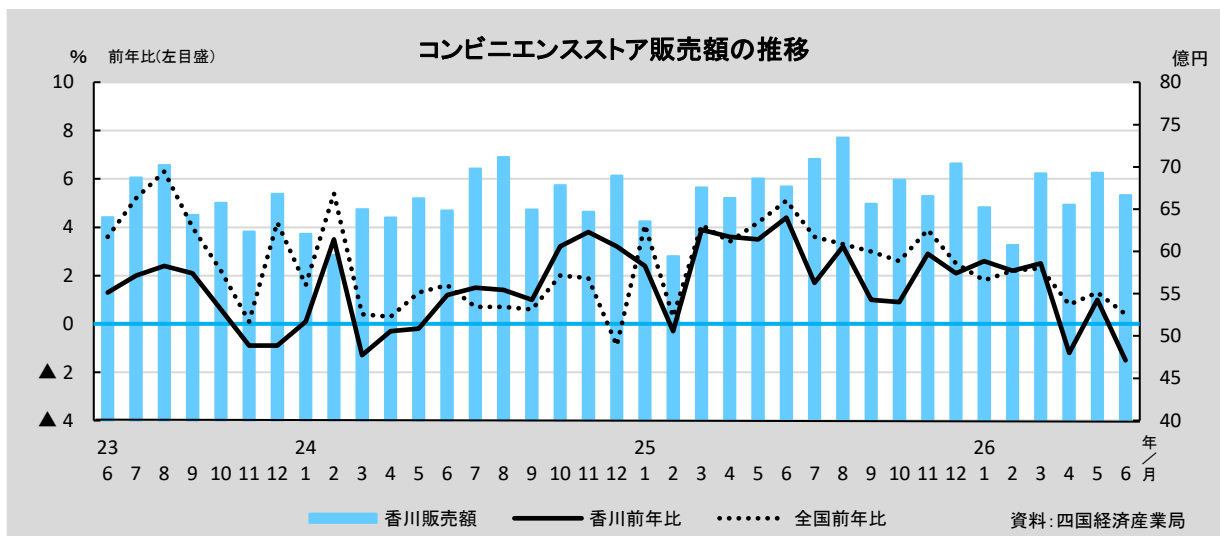


2026/6月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(百万円)	1,005	509	11,267	25	51	639	1,389	4	14,889
前年同月比(%)	▲ 11.6	▲ 14.0	▲ 2.3	17.1	2.9	▲ 11.1	▲ 4.8	4.0	▲ 4.0

6月の百貨店・スーパー全店（89店）の販売額は148.9億円で、前年同月比▲4.0%と2カ月ぶりに減少した。前年より気温の低い日が多かったことから、「飲食料品」は飲料やアイスクリームなどの夏物商材が伸び悩んだことに加え、米の前年需要増の反動減がみられ同▲2.3%、「衣料品」は夏物衣料の動きが鈍く同▲11.6%と前年を下回った。

●コンビニエンスストア販売額

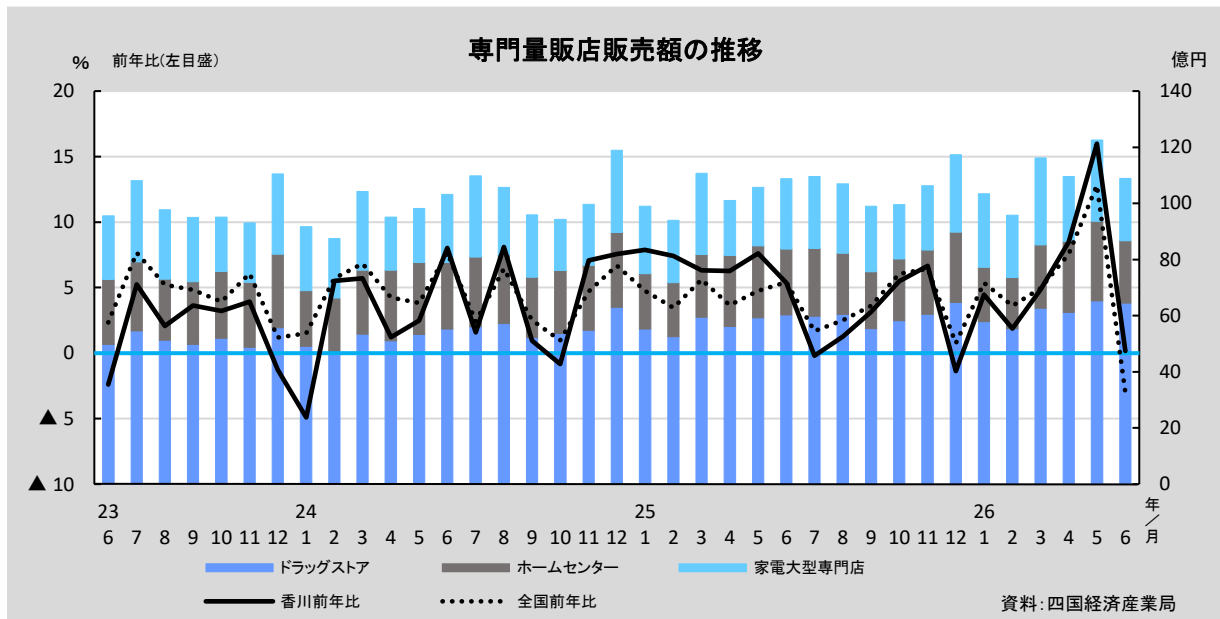
2 カ月ぶり減少 ↓



6月のコンビニエンスストア全店（408店）の販売額は66.7億円で、前年同月比▲1.5%となり、2カ月ぶりに減少した。

●専門量販店販売額

6 カ月連続増加

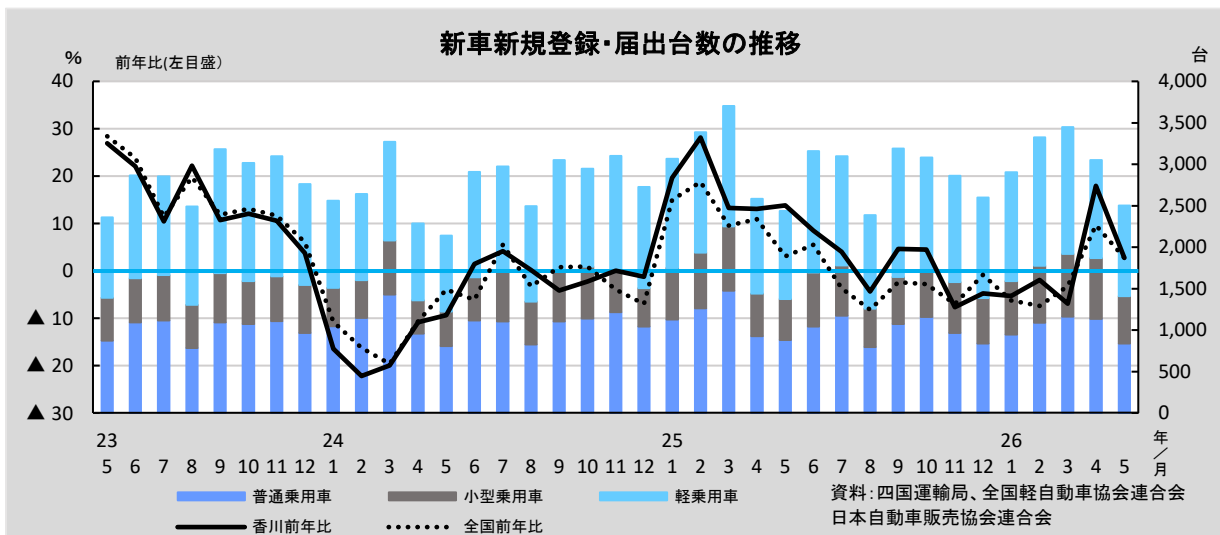


6 月の専門量販店全店（245 店）の販売額 108.9 億円で、前年同月比+0.2%と 6 カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（27 店）の販売額は 22.2 億円で前年同月比▲11.4%となった。**ドラッグストア**（173 店）の販売額は、64.5 億円で同+7.0%となった。**ホームセンター**（45 店）の販売額は、22.3 億円で同▲5.0%となった。

●新車新規登録・届出台数

2 カ月連続増加



5 月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は 2,505 台で、前年同月比+2.7%と 2 カ月連続で増加した。

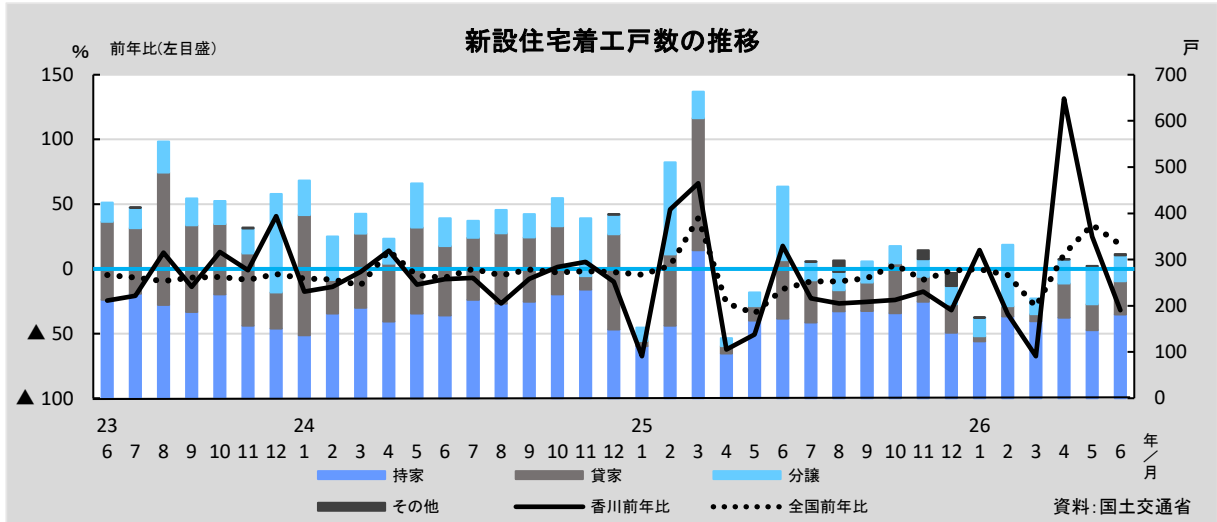
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比▲5.1%、小型乗用車は同+16.0%、軽乗用車は同+3.1%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

3 カ月ぶり減少



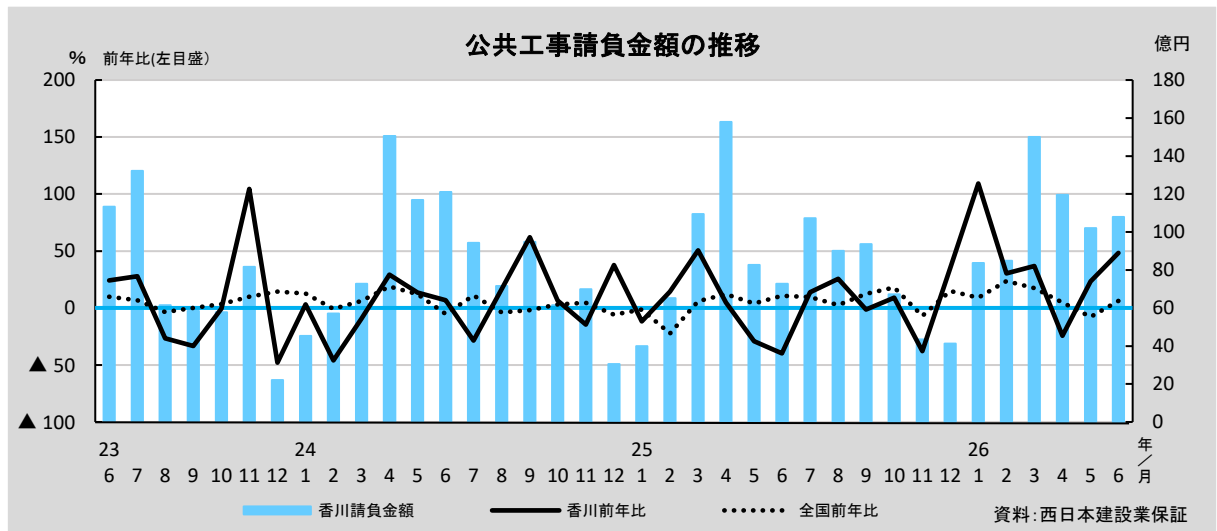
6 月の新設住宅着工戸数は 312 戸で、前年同月比 ▲31.9% と 3 カ月連続ぶりに減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比+5.2%、**貸家**で同 ▲43.3%、**分譲住宅**で同 ▲64.8% となった。

公共投資

持ち直しの動きがみられる

●公共工事請負金額

2 カ月連続増加



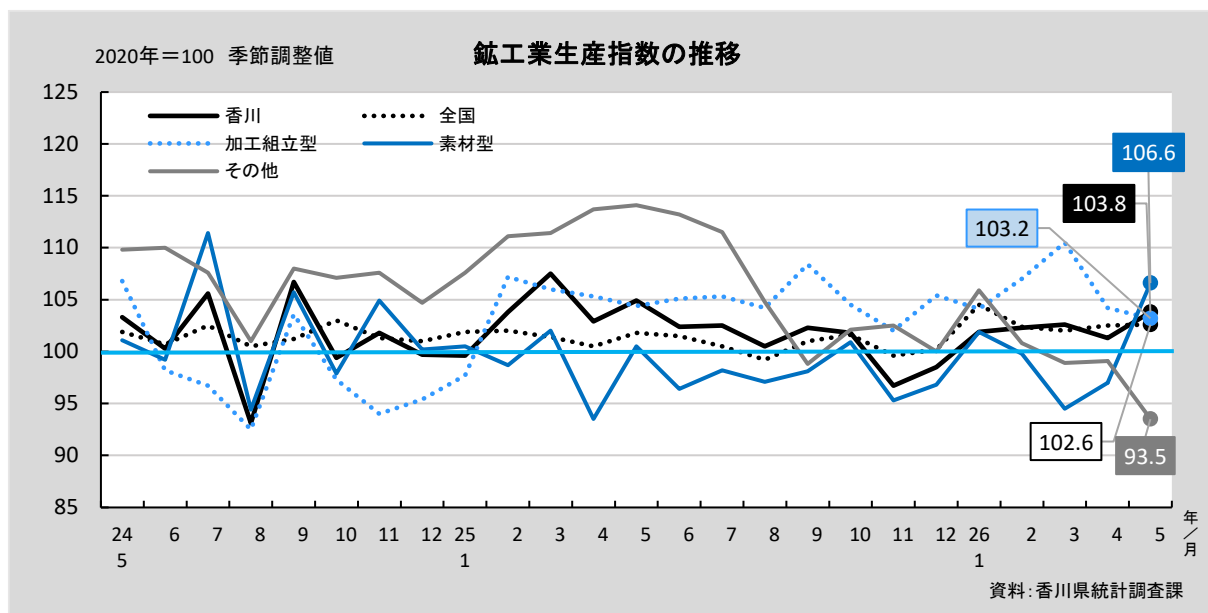
6 月の公共工事請負金額は 108.0 億円で、前年同月比+48.5% と 2 カ月連続で増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+61.8%、**県**で同+27.1%、**市町**で同+76.0% となった。2026 年度(2026.4 月～6 月)の累計では前年同期比+5.2% と増加している。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2 カ月ぶり上昇 ↑



5 月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は 103.8（前月 101.3）となり、2 カ月ぶりに上昇した。

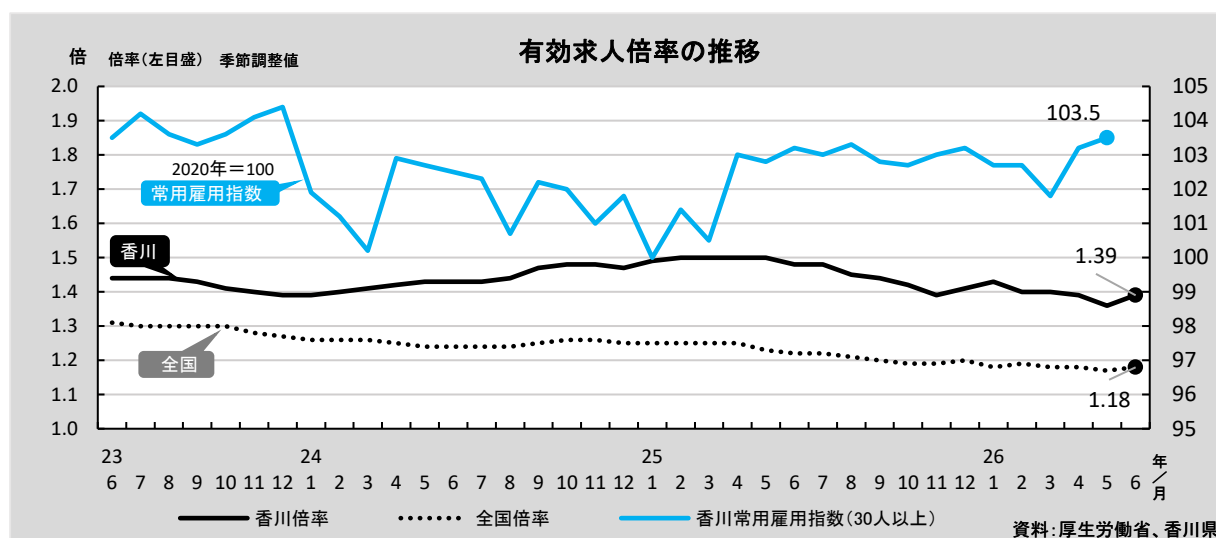
業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は前月比+29.0%、金属製品工業（アルミニウム製建具など）は同+11.5%と上昇した。一方、その他業種の食料品工業（食用油など）は同▲5.3%と低下した。

雇用情勢

持ち直しの動きに弱さがみられる

● 有効求人倍率

5 カ月ぶり増加 ↑



6 月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.39 倍（全国 9 位）と前月から 0.03 ポイント上回った。

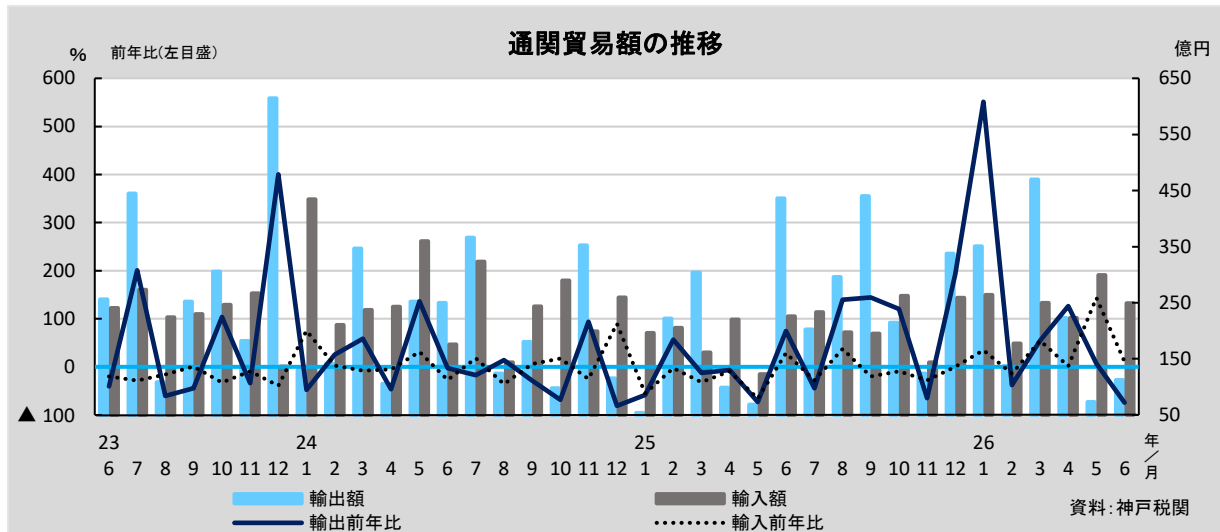
新規求人（原数値：前年同月比）は、卸売業・小売業、公務・その他、教育・学習支援業等で減少となり、全体で▲0.6%と 2 カ月連続で減少した。

5 月の常用雇用指数（事業所規模 30 人以上）は、103.5 となり、前年同月比+0.7%と 16 カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.05
事務的職業	0.55
販売の職業	2.03
サービスの職業	2.81
生産工程の職業	2.18
輸送・機械運転の職業	2.55
建設・採掘の職業	6.05
運搬・清掃・包装等の職業	1.04

貿易

輸出は減少、輸入は増加している

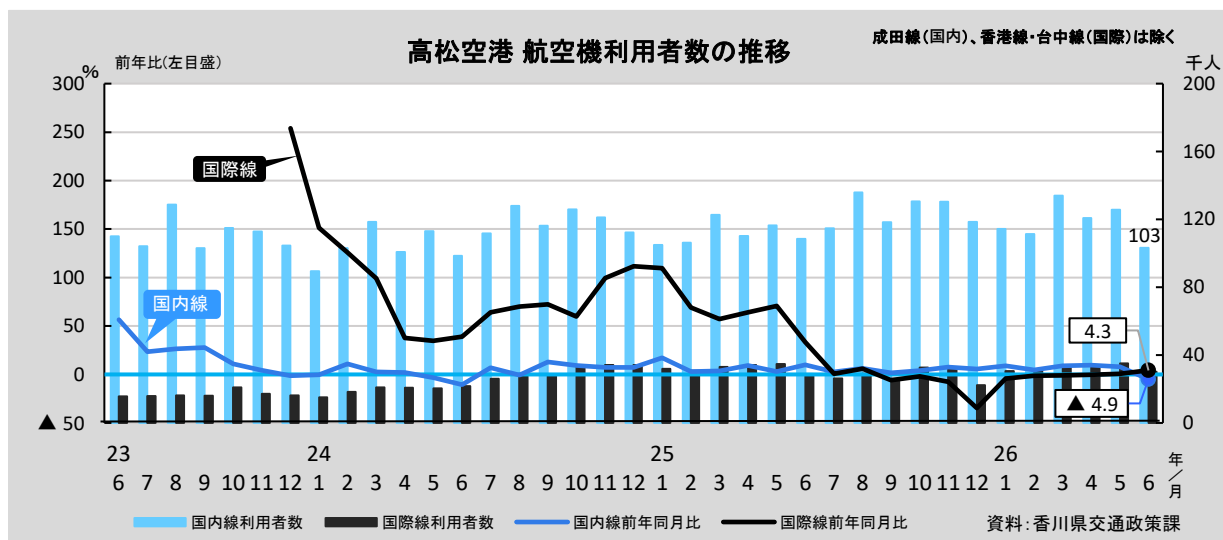


6月の輸出額は前年同月比▲74.2%の112.4億円、輸入額は同+10.5%の249.3億円となり、差し引き136.9億円の入超となった。輸出は貨物船輸出額が前年同月比▲78.1%の49億円となり減少に寄与した。輸入は液化石油ガス輸入額が前年同月比2.9倍の44億円となり増加に寄与した。

交通

国内線は22カ月ぶり減少、国際線は2カ月連続増加

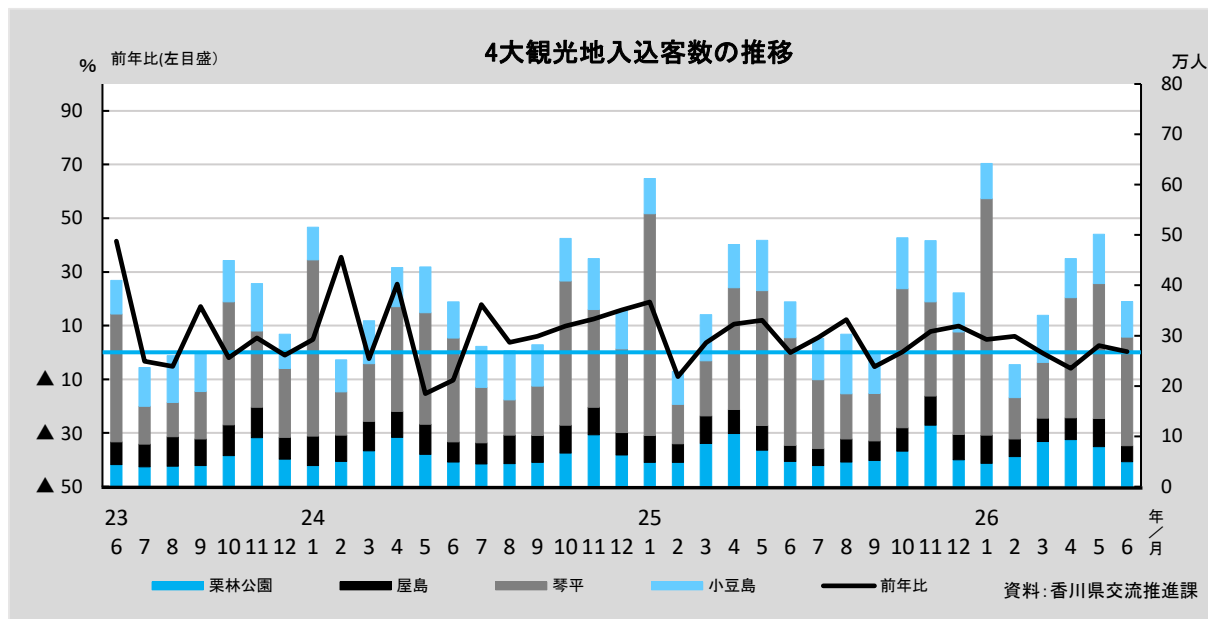
●高松空港旅客輸送実績



6月の航空機利用者数は、国内線（羽田・那覇線）が103,239人（前年同月比▲4.9%）となり、22カ月ぶりに減少した。羽田線は95,071人（同▲4.5%）、那覇線は8,168人（同▲8.8%）となった。

国際線は、ソウル線16,960人（同▲4.1%）、台北線8,652人（同+39.3%）、釜山線4,526人（全増）で、合計30,138人（同+4.3%）と2カ月連続で増加した。

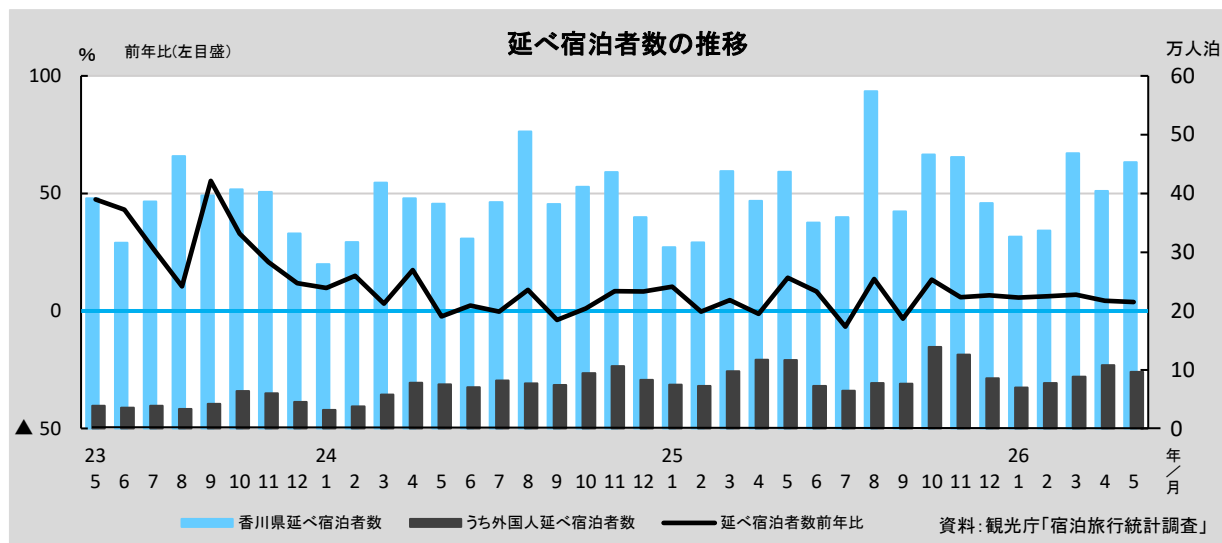
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計
6月(人)	前年同月比	49,717 ▲0.3%	31,528 ▲0.9%	216,000 0.9%	70,680 ▲0.9%	367,925 0.2%
1~6月累計(人)		418,504 2.1%	268,408 ▲2.0%	1,386,000 2.5%	474,678 ▲2.1%	2,547,590 1.1%

6月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+0.2%と2カ月連続で増加した。琴平は前年同月比+0.9%と増加した。一方、栗林公園は同▲0.3%、屋島は同▲0.9%、小豆島は同▲0.9%と減少した。1~6月の累計では前年同期比+1.1%と増加を維持している。

●延べ宿泊者数



5月の延べ宿泊者数 453,410 人泊で、前年同月比+3.8%と8カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数は 96,740 人泊となり、前年同月比▲17.1%と3カ月連続で減少した。